

## 工業調査及び中小企業

### 基本調査の審査を顧みて

昭和32年12月末日現在で、全国一斉に行われます工業統計調査と共に、本年は特にわが国で最初の中小企業に関する総合的な基本調査が同時に実施されました。

本県におきましても県下440余名の工業調査員と、170名の中小企業調査員によつて、それぞれの調査票が各事務所から市町村に提出され、ここで調査区順に整理、審査が行われて各支庁に収集され、支庁においてさらに照合審査された工業調査票甲、乙、丙および準備簿名簿ならびに中小企業総合基本調査票が3月上旬一斉に県に提出されました。

県におきましては8名の担任職員によつて連日連夜再審査を行い、中小企業調査票1,000余枚は3月25日に、工業調査票6,800余枚は3月28日に滞りなく整理して商産産業省へ提出いたしました。

ここに調査開始以来、広く各事業所を訪問して、調査の配付収集および記載要領等の指導にあたられた第一線の調査員各位、ならびに市町村、各支庁統計係員の並ならぬ御努力に深く敬意を表しますと共に、特に本年工業調査と中小企業調査が一部重複した事業所があつたにもかかわらず、よくこの両調査の趣旨を理解されてよく協力された県下6,300余の各事業所関係者に対し心からお礼を申し上げます。

さて工業調査および中小企業調査の審査を終了し、これを顧みまして、その結果(工業調査のみ)を次表のように取りまとめました。この表に示しますように工業調査の今回の照会事項は合計226件で、前回の413件に比べ半減であり、記入もれも少なく、またその内容もよく整理されていたことは誠に御同慶に堪えません。記入もれの最高はなんといつても例年のとおり11欄電力使用額でした。これに次いで8欄従業者数(6欄経営組織が個人で8欄に、個人事業主の欄に記入されていないもの)17欄製造品出荷額(醤油粕、おがくず等)等の記入もれが主なものでした。不審と思われた最高は11欄ハ、電力使用額の数量および金額であり、これに次いで赤字の理由がはつきりしないもの、13欄製造品本年末在庫額と17欄製造品在庫額の合わないもの、8欄12月末常用労働者数の計と9欄月別常用労働者数の12月末現在数の不一致のもの、および17欄製造品出荷額が不審と思われるもの等の順でした。

なお中小企業調査の照会件数は合計205件で、その主なものは9欄固定資産課税標準額および15欄電力使用額等の記入もれでした。

以上審査結果のあらましを簡単に書いて見ましたが、

少しでも次回調査の記入や審査上の参考ともなれば幸いです。(筆者は青木商工調査係長)

#### 昭和32年工業調査票審査結果調

##### ◎甲 票

##### A 記入もれのもの

| 照会事項                      | 件数 |
|---------------------------|----|
| 事業所所在地                    | 1  |
| 資本金額                      | 5  |
| 兼営の有無                     | 3  |
| 従業者数(経営組織が個人で個人事業主欄に未記入等) | 11 |
| 現金給与額                     | 1  |
| 原材料使用額                    | 1  |
| 電力使用額                     | 72 |
| 13欄製造品在庫額                 | 2  |
| 主要原材料名                    | 8  |
| 作業工程                      | 2  |
| 製造品出荷額(例えば醤油粕、おがくず等)      | 9  |
| 加工賃収入額                    | 2  |
| くずおよび廃物の出荷額               | 2  |
| 昭和30年工業調査を提出しましたか         | 1  |

##### B 不審と思われるもの

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 本社名、本社所在地の不審                          | 1  |
| 8欄12月末常用労働者数の計と9欄月別常用労働者数の12月末現在数の不一致 | 9  |
| 電力使用額がおかしいと思われるもの                     | 19 |
| 10欄現金給与額と8欄常用労働者数が不均衡と思われるもの          | 3  |
| 13欄製造品、原材料、燃料等の在庫がおかしいと思われるもの         | 4  |
| 13欄製造品本年末在庫と17欄製造品在庫額の不一致             | 14 |
| 14欄固定資産の取得、除却、減価償却額がおかしいと思われるもの       | 8  |
| 建設仮勘定がおかしいと思われるもの                     | 2  |
| 製造品名がはつきりしないもの(その他等と)                 | 8  |
| 数量単位がメートル法で記入されていないもの                 | 4  |
| 製造品出荷額がおかしいと思われるもの                    | 9  |
| 加工賃収入額が不審と思われるもの                      | 4  |
| くず廃物がおかしいと思われるもの                      | 1  |
| 内国消費税がおかしいと思われるもの                     | 3  |
| 赤字の理由がはつきりしないもの                       | 15 |
| 対象外と思われるもの                            | 2  |

##### C 合計

226

# 新市町村の横顔

## たいよう 大洋村



小室村長

この村は水戸からバスで約1時間40分、鹿島郡の中央部に位し、東は鹿島灘の波瀾に臨み、西は北浦を隔てて行方郡に相対し、南は大野村、北は銚田町に隣接している平坦な純農村地帯である。昔この地方は伊島郷や白鳥郷に属し、大部分が中属、阿玉、梶山、守山氏などの地頭、代官の領地、乗地であつたが、明治維新の廃藩置県後は、宮城県、新治県茨城県へとそれぞれ編入されたのである。昭和30年3月31日には町村合併の機運についで白鳥、上島の両村が合併し、その名も洋々たる発展を約束するにふさわしく大洋村が誕生して、面積46.46平方キロ、人口10,862人(男5,236、女5,626)、世帯数1,871となり、真に村民の融和協力によつて農業経営の合理化と医療福利、教育文化の向上発展を計り、道路を改善し、名実ともに明るく住みよい新農村を建設することだろう。

## 2. 産 業

まず農業面を見ると、北浦沿岸は水田、海岸地帯は原野、中央部は畑、山林が多く、農家戸数1,574戸、農家人口9,878人(男4,774、女5,104)、耕地面積1,790町(田481町、畑1,299町、樹園地10町)に達し、なかでもさつまいもが851町、大麦443町、小麦505町、なたね240町の作付面積を有し、さつまいもは年産460万メに達し、澱粉の原料として大部分千葉県その他へ出荷して大変好評を受けており、本県における特産地として将来の発展が期待される。次に畜産面を見ると、乳牛76頭、役牛760頭、馬182頭、めん羊33頭、山羊131頭、豚1,667頭、兎151頭、にわとり11,690羽に達しており、村としても優良乳牛、種豚の導入貸付を行い、酪農経営と養豚、養鶏経営の普及奨励を行っている。特に人口に比べ耕地が少ないので、農業の多角化と有畜化を促進して農家における現金収入の大幅な増加を図っている。なお毎年行われる鹿行地方の畜産共進会でも優秀な成績を収めている由。次に農機具の普及状況を見ると、電動機28台、石油発動機348台、ハンドトラクター6台、動力耕うん機5台、脱穀機343台、足踏脱穀機904台、動力糶すり機72台、製粉機42台、精米(麦)機26台、噴霧機41台、動力製糶機10台、足踏製糶機892台、畜力カルチベーター140台、畜力碎土機221台、畑用播種機378台、畜力すき842台、家畜いも切機39台に達し、次第に農業の機械化、動力化が進んできた。この村の農事研究会の活動は非常に活発で保温折衷苗代では大きな効加を現している由。また鹿

## 1. 沿 草

島灘沿岸におけるはまぐりの採取は、昔から非常に盛んで年産3万メに達し、本県随一を誇り、静岡、三重県その他へ出荷している由。砂防林は150町を管理しており、その保護育成問題が村としては大きな関心事となつている。土地改良事業も梶山地区の区劃整理50町歩を計画し33年度から実施する予定となつている由。

次に工商業面を見るとほとんど見るべきものはないが常用労働者のいない個人商店105、従業者165名、月間(6月)販売額522万円、その他法人および常用労働者を有する個人商店が若干あるので、工場数は26、従業者数12名、年間製造出荷額7,402万円に過ぎない。

3. 教育文化  
ここには小学校4(外分校2)、中学校2あつて児童数2,389名(男1,187、女1,202)、中学生徒数707名(男361女346)で、合併を契機として老朽校舎の改増築に着手し、白鳥小学校4教室(470万円)、上島東学校6教室(650万円工事中)白鳥東小学校4教室(450万円予定)の整備に力を注ぎ、中学校の統合は34年度に行う予定である由。また中央公民館は35年度に建設予定であるが、青年、婦人団体、子ども会なども公民館を中心に統合して活動を展開し、社会教育の振興と新生活運動の大きな推進力となつており、料理講習会、生活改善、衣類の貸付などで大きな効果をあげている。また町としては役場庁舎の新築とともに幹線道路および農道の整備改修に努力している。また村民の結核予防と寄生虫の駆除のために相当の村費補助を行い、蚊、はえ退治による環境衛生の改善にもめざましい活動を展開している由。

名所旧蹟としては、大正5年に国宝に指定された大野地区の福泉寺の釈迦如来立像は鎌倉時代中期に清浄宗に専らとなつていたものである。また汲上地区の如意輪観音は大同元年頃に創建されたもので、常陸三十三観音の札所一番として近郷近在に広く知られている。

## 小室村長の抱負

1. 小学校老朽校舎の改増築と中学校の統合および公民館の建設など教育施設の整備を年次計画のもとに実施する。
2. 役場を中心とした道路網と産業道路を年次計画のもとに整備すること。
3. 農業生産力の増強を図り、安定農家を確立するに関係機関と緊密な提携いして土地改良および畜産等に努めること。
4. 村民の健康増進と環境衛生の改善に努め、村民福祉増進を図ること。
5. 行政機構の合理化と事務の簡素化によつて村民サービス向上に努めること。

昭和32年度一般会計歳入歳出予算

(単位円)

| 歳入         | 村税         | 地方交付税   | 公営企業及び公債収入 | 使用料及び手数料   | 国庫支出金   | 県支出金      | 寄付金       | 繰入金       | 繰越金       | 雑収入    | 村債    | 合         |           |     |   |
|------------|------------|---------|------------|------------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|-------|-----------|-----------|-----|---|
| 18,148,297 | 12,759,233 | 1,900   | 185,000    | 1,401,600  | 128,290 | 500,200   | 2,178,553 | 1,896,300 | 1,700,000 |        |       |           |           |     |   |
| 歳出         | 議会費        | 役場費     | 警察消防費      | 土木費        | 教育費     | 社会及び労働施設費 | 保健衛生費     | 産業経済費     | 財産費       | 統計調査費  | 選挙費   | 公債費       | 諸支出金      | 予備費 | 合 |
| 778,450    | 7,290,793  | 488,127 | 2,980,758  | 17,419,740 | 191,707 | 420,250   | 3,780,868 | 262,854   | 139,250   | 38,560 | 1,000 | 1,963,110 | 1,143,908 |     |   |

# 生産動態調査

## 繊維部門

(昭和33年2月度分)

(調査企画課商工調査係)

### 概況

繊維物の生産は前月度の約8%増、引渡高は約18%増で月末在庫高は約7%の減となっている。

春物の生産は春物の生産時期であつたが前月度と殆ど変わらず約7%の減である。しかしながら引渡高は約68%も増加した。

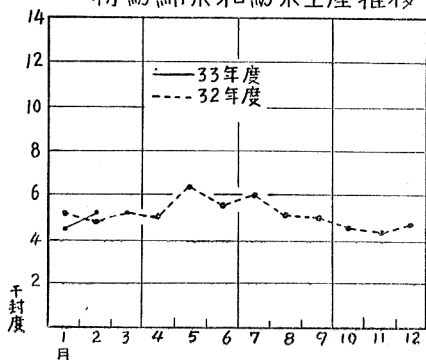
### メリヤス製品

メリヤス製品の生産は前月度の約10%増で、引渡高は約3%の増加となつた。

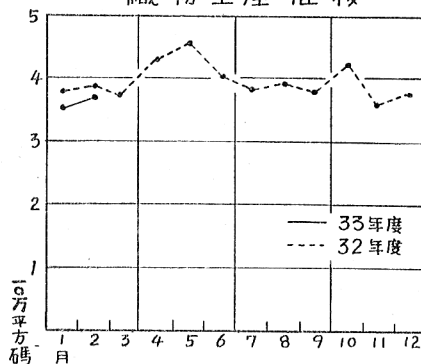
### 縫製品

学校服、既成服、中衣、肌着の生産高増加、学校服、作業服、既成服、中衣、肌着の引渡増加が目立っている。

特紡綿糸和紡糸生産推移



織物生産推移



### (1) 対象工場数

| 業種 | 特紡和紡糸 | 綿織物 | 絹織物 | メリヤス製品 | 雑繊維製品 | 縫製品 | 製綿 |
|----|-------|-----|-----|--------|-------|-----|----|
| 対象 | 4     | 17  | 319 | 11     | 3     | 14  | 11 |
| 操業 | 4     | 14  | 291 | 11     | 3     | 14  | 11 |
| 休止 | —     | 3   | 28  | —      | —     | —   | —  |

(2) 生産および出荷状況

| 部門別   | 品目別      | 単位  | 生産高     |         | 引渡高     |         | 月末在庫高   |         |
|-------|----------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|       |          |     | 当月度     | 前月100対比 | 当月度     | 前月100対比 | 当月度     | 前月100対比 |
| 紡績    | 計        | 封度  | 52,725  | 126     | 57,000  | 80      | 21,265  | 83      |
|       | 綿糸       | 〃   | 21,000  | 120     | 32,500  | 70      | 3,000   | 21      |
|       | 落綿       | 〃   | 8,000   | —       | 8,000   | —       | 600     | —       |
|       | ビスコフ     | 〃   | 12,100  | 95      | 12,500  | 100     | 400     | 29      |
|       | 特紡綿糸     | 〃   | 4,750   | 100     | 4,000   | 80      | 1,250   | 250     |
|       | 和紡糸      | 〃   | 6,875   | 98      | —       | —       | 16,015  | 175     |
|       | 織物計      | 平方碼 | 370,263 | 106     | 388,778 | 117     | 255,442 | 93      |
|       | 綿織物      | 〃   | 275,794 | 108     | 287,868 | 118     | 117,870 | 91      |
|       | 絹織物      | 〃   | 34,673  | 95      | 35,713  | 183     | 80,320  | 99      |
|       | 絹紡織物     | 〃   | 3,882   | 81      | 4,237   | 100     | 4,830   | 93      |
| 物     | 和紡織物     | 〃   | 5,480   | 83      | 11,730  | 106     | 40,333  | 87      |
|       | 特紡織物     | 〃   | —       | —       | —       | —       | —       | —       |
|       | スフ織物     | 〃   | 9,102   | 58      | 7,855   | 50      | 1,247   | —       |
|       | 人絹織物     | 〃   | —       | —       | —       | —       | —       | —       |
|       | 合成繊維織物   | 〃   | 41,332  | 135     | 41,375  | 114     | 10,842  | 99      |
|       | メリヤス生地   | 封度  | 2,111   | 52      | 1,484   | 40      | 1,296   | 193     |
|       | 製品計      | 打   | 10,346  | 110     | 10,664  | 103     | 12,285  | 127     |
|       | 肌着       | 〃   | 1,150   | 88      | 871     | 72      | 814     | 152     |
|       | 外衣       | 〃   | 172     | 121     | 172     | 121     | —       | —       |
|       | 手衣       | 〃   | 6,372   | 104     | 6,970   | 111     | 8,300   | 141     |
| 雑織維製品 | 靴下       | 〃   | 2,652   | 147     | 2,651   | 97      | 3,171   | 100     |
|       | 計        | 封度  | 1,231   | 50      | 1,854   | 74      | 2,612   | 94      |
|       | 漁網       | 〃   | 611     | 94      | 816     | 76      | 762     | 89      |
|       | 漁具       | 〃   | 620     | 35      | 1,038   | 73      | 1,850   | 96      |
|       | 学校服      | 着   | 2,095   | 178     | 1,975   | 168     | 1,434   | 110     |
|       | 作業服      | 〃   | 4,785   | 81      | 6,158   | 145     | 402     | —       |
|       | 制服       | 〃   | 2,392   | 76      | 2,392   | 76      | —       | —       |
|       | 乳児および子供服 | 〃   | 73      | 29      | 136     | 44      | 882     | 95      |
|       | 既成服      | 〃   | 4,999   | 116     | 6,004   | 128     | 2,527   | 87      |
|       | 中衣、肌衣    | 点   | 16,802  | 151     | 16,482  | 110     | 63,009  | 101     |
| 製綿    | 中入綿      | 封度  | 60,907  | 61      | 53,519  | 54      | 29,832  | 100     |
|       | ふとん綿     | 〃   | 185,849 | 76      | 183,453 | 81      | 83,881  | 100     |

★本表は、生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸、和紡糸以外の紡績工場および抽出調査工場は含まれていない。

# 機 械 部 門

(昭和33年2月度分)

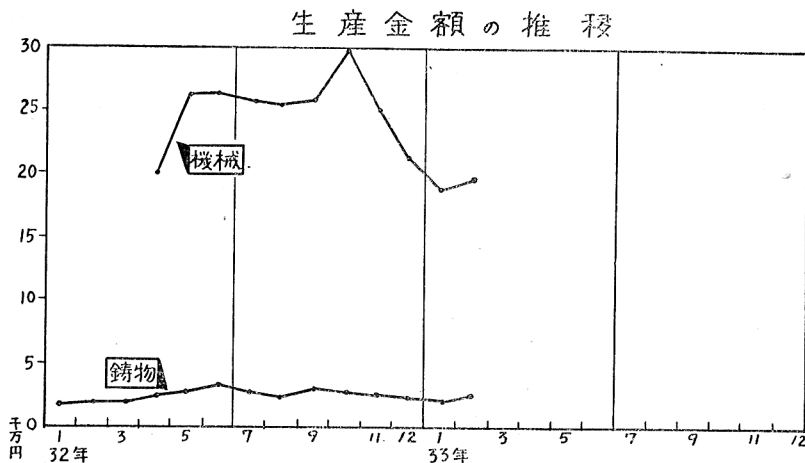
## 概 況

### 機械工業

本月の生産金額は前月より持直し10%の増であった、これを業種別に見ると機械、産業用電気機械器具、輸送用機械器具製造業が伸び金属製品通信器計測器製造業が多少の減であった。

### 鑄物工業

本月の生産総数量は前月対比10%と機械工業と、ともにやや伸びがあった。業種別には銅鑄物で14%の減、銑鉄鑄物で14%、軽合金鑄物で13%の増であった。



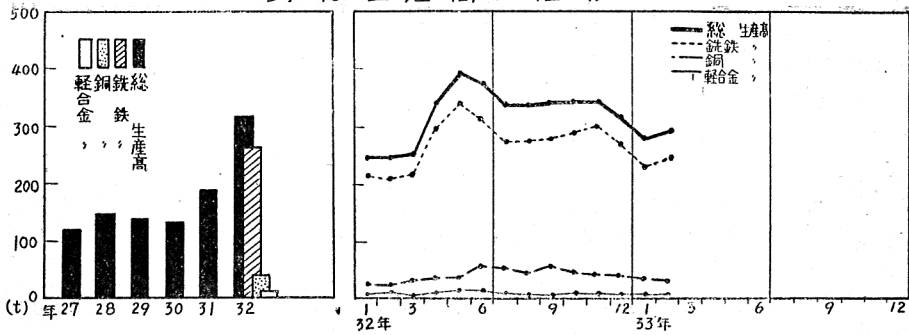
機 械 工 業 (数量=kg、金額=千円)

| 金属製品製造業         |        | 34機械製造業                  |        | 341ボイラー原動機製造業       |       | 342農業用機械製造業 |       | 344金属加工機械製造業    |        | 346特殊産業用機械製造業                           |         | 347一般産業用機械装置製造業 |    |
|-----------------|--------|--------------------------|--------|---------------------|-------|-------------|-------|-----------------|--------|---|---------|-----------------|----|
| 数量              | 金額     | 数量                       | 金額     | 数量                  | 金額    | 数量          | 金額    | 数量              | 金額     | 数量                                      | 金額      | 数量              | 金額 |
| 21,769          | 7,374  | 89,570<br>9,243個<br>606基 | 54,736 | 13,422              | 2,775 | 9,243個      | 7,234 | 28,600          | 9,760  | 31,056                                  | 17,962  |                 |    |
| その他の機械、機械部分品製造業 |        | 351発電用送電用配電用産業用電気機械器具製造業 |        | 354通信機械器具同関連機械器具製造業 |       | 357電気計測器製造業 |       | 377時計同部分品製造業    |        | 36輸送用機械器具製造業                            |         | 機械工業総数          |    |
| 16,492<br>606基  | 16,955 | 2,037台                   | 53,913 | 1,185台<br>5,315個    | 7,642 | 4,037個      | 2,242 | 24台<br>489,254個 | 62,991 | 111,339kg<br>606基<br>507,849個<br>3,246台 | 188,898 |                 |    |
| 対象事業所数          |        |                          |        | 45                  |       |             |       | 対 比             |        | 前 月                                     |         | 110             |    |
| 事業所実人員          |        |                          |        | 3,276               |       |             |       |                 |        | 前年同月                                    |         | —               |    |

※ 本表は下記の定義にもとづいたものである。

1. 分類方法は日本標準分類製造業Fによる。
2. 調査内容は生産動態統計調査規則機械品目表中にある工場で従業員20名以上（特例超硬工具自転車工業10名以上作業工具5名以上）を有するものを対象とした。ただし通産局調査分は含まれない。
3. 数量欄中kgで表わせない品目は個数等による。

鑄物生産高の推移



鑄物工業 (重量=kg、金額=千円)

| 品目        | 鑄物総数    |        | 鉄鉄鑄物    |        | 銅鑄物   |       |        |        |       |       |      |     | アルミニウム鑄物 |       |
|-----------|---------|--------|---------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|------|-----|----------|-------|
|           | 重量      | 金額     | 重量      | 金額     | 銅     |       | 青銅     |        | 黄銅    |       | その他銅 |     | 重量       | 金額    |
|           |         |        |         |        | 重量    | 金額    | 重量     | 金額     | 重量    | 金額    | 重量   | 金額  |          |       |
| 産業機械器具用   | 182,652 | 18,417 | 179,167 | 13,810 | 219   | 141   | 2,631  | 1,157  | 173   | 82    | 30   | 22  | 432      | 2,000 |
| 織維        | —       | —      | —       | —      | —     | —     | —      | —      | —     | —     | —    | —   | —        | —     |
| 鉄道及び車輛用   | 6,141   | 902    | 4,906   | 406    | —     | —     | 580    | 149    | —     | —     | —    | —   | 655      | 2,000 |
| 電気通信      | 57,968  | 8,635  | 48,693  | 4,112  | 2,648 | 1,458 | 3,937  | 1,826  | —     | —     | —    | —   | 2,690    | 1,000 |
| 農器具漁具     | 1,806   | 183    | 1,800   | 180    | —     | —     | —      | —      | —     | —     | —    | —   | 6        | —     |
| 港湾船舶      | 1,491   | 752    | —       | —      | —     | —     | 542    | 328    | 855   | 351   | —    | —   | 94       | —     |
| 日用品       | 3,787   | 281    | 3,787   | 281    | —     | —     | —      | —      | —     | —     | —    | —   | —        | —     |
| 鑄型および鑄型定盤 | 6,000   | 210    | 6,000   | 210    | —     | —     | —      | —      | —     | —     | —    | —   | —        | —     |
| ロール       | —       | —      | —       | —      | —     | —     | —      | —      | —     | —     | —    | —   | —        | —     |
| 軸受メタル     | 10,933  | 8,510  | —       | —      | —     | —     | 10,788 | 8,377  | —     | —     | 145  | 133 | —        | —     |
| バルブコック    | 9,572   | 3,016  | —       | —      | —     | —     | 3,502  | 1,195  | 6,070 | 1,821 | —    | —   | —        | —     |
| 建築用       | —       | —      | —       | —      | —     | —     | —      | —      | —     | —     | —    | —   | —        | —     |
| 精密機器      | 438     | 215    | —       | —      | —     | —     | —      | —      | —     | —     | —    | —   | 438      | —     |
| 自動車       | 4,500   | 2,100  | —       | —      | —     | —     | —      | —      | —     | —     | —    | —   | 4,500    | 2,100 |
| その他の機械器具  | 16,498  | 1,047  | 16,176  | 924    | —     | —     | 322    | 123    | —     | —     | —    | —   | —        | —     |
| その他       | 2,278   | 235    | 2,172   | 190    | —     | —     | 45     | 23     | —     | —     | —    | —   | 61       | —     |
| 計         | 304,064 | 41,503 | 262,701 | 20,113 | 2,867 | 1,599 | 22,347 | 13,178 | 7,098 | 2,254 | 175  | 155 | 8,876    | 4,000 |
| 対比        | 前月      | 110    | 103     | 114    | 114   | —     | —      | 86     | 91    | —     | —    | —   | 113      | 110   |
| 対比        | 前年同月    | 123    | 114     | 125    | 120   | —     | —      | 120    | 120   | —     | —    | —   | 80       | 80    |
| 対象事業所数    | 25      |        | 17      |        | 10    |       |        |        |       |       |      |     | 6        |       |
| 事業所当該人員   | 702     |        | 465     |        | 292   |       |        |        |       |       |      |     | 96       |       |

※本表は下記の定義にもとずいたものである。

1. 鉄鉄鑄物は10名以上銅合金鑄物、軽合金鑄物は5名以上を有するものを対象とした。ただし通産局調査分は含まれない。
2. 鑄物総数中対象事業所および事業所人員欄は実数である。

雑 貨 部 門

(昭和33年2月度分)

概 況

革 靴

今月の生産数量は305足で前月に比べると10%の減であつた。

漆 器

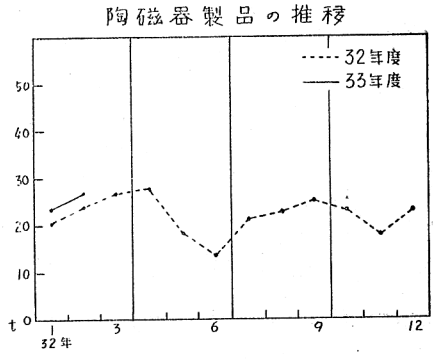
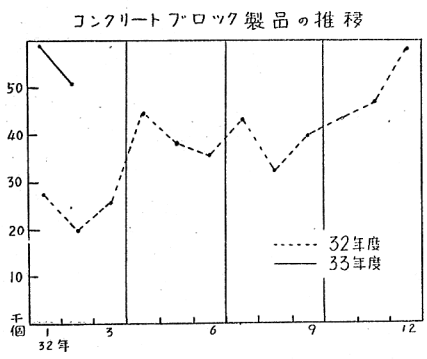
今月は生産数量2,170個で前月に比べると30%の増であり昨年同月とは46%の増加であつた。

建築用コンクリートブロック

今月の生産数量は50,389個で前月対比は86%すなわち14%の減であつた。これに対し出荷数量は130%とのびている

陶 磁 器

今月の生産数量を前月に比べると10%の増加であり引続いて好況である。



| 業<br>種                          | 区<br>分      |               | 単<br>位  | 生 産 数 量 |            |         | 出 荷 数 量 |            |        |       |            |         | 月 末 在 庫<br>数 量 | 事 業 所<br>数<br>(接 続) |
|---------------------------------|-------------|---------------|---------|---------|------------|---------|---------|------------|--------|-------|------------|---------|----------------|---------------------|
|                                 | 製<br>品<br>名 | 数             |         | 数 量     | 前 月<br>対 比 | 金 額     | 国 内 向   |            |        | 輸 出 向 |            |         |                |                     |
|                                 |             |               |         |         |            |         | 数 量     | 前 月<br>対 比 | 金 額    | 数 量   | 前 月<br>対 比 | 金 額     |                |                     |
|                                 |             |               |         |         |            |         |         |            |        |       |            |         |                |                     |
| 革<br>靴                          | 総           | 数             | 足       | 305     | 90         | 805     | 287     | 82         | 783    | —     | —          | —       | 428            | 36                  |
|                                 | 男 子         | 総 革 靴         | 〃       | 184     | 96         | 533     | 168     | 82         | 499    | —     | —          | —       | 194            |                     |
|                                 | 婦 人         | 〃             | 〃       | 108     | 79         | 232     | 106     | 80         | 244    | —     | —          | —       | 234            |                     |
|                                 | そ の 他       | 靴             | 〃       | 13      | 118        | 40      | 13      | 118        | 40     | —     | —          | —       | —              |                     |
| 漆<br>器<br>(木製)                  | 総           | 数             | 個       | 2,170   | 130        | 1,037   | 994     | 68         | 208    | —     | —          | —       | 281            | 12                  |
|                                 | 食 器         | 類             | 〃       | 200     | —          | 5       | 200     | —          | 5      | —     | —          | —       | —              |                     |
|                                 | 容 器         | 類             | 〃       | 486     | 104        | 90      | 236     | 78         | 70     | —     | —          | —       | 100            |                     |
|                                 | 食 卓 子、膳 盆 類 | 〃             | 〃       | 1,484   | 124        | 942     | 508     | 47         | 133    | —     | —          | —       | 178            |                     |
|                                 | そ の 他       | 〃             | 〃       | —       | —          | —       | —       | —          | —      | —     | —          | —       | 3              |                     |
| 建 築 用<br>コ ン ク リ ー ト<br>ブ ロ ッ ク | 総           | 数             | 個       | 50,389  | 86         | 1,588   | 49,315  | 130        | 1,702  | —     | —          | —       | 83,661         | 36                  |
|                                 | A 種         | 基 本           | 〃       | 1,380   | 65         | 40      | 1,296   | 39         | 43     | —     | —          | —       | 7,140          |                     |
|                                 |             | 異 型           | 〃       | 1,780   | 83         | 46      | 2,641   | 127        | 66     | —     | —          | —       | 3,012          |                     |
|                                 | B 種         | 基 本           | 〃       | 2,730   | 96         | 62      | 1,300   | 83         | 52     | —     | —          | —       | 3,186          |                     |
|                                 |             | 異 型           | 〃       | 540     | 80         | 16      | 780     | 144        | 31     | —     | —          | —       | 461            |                     |
|                                 | C 種         | 基 本           | 〃       | 21,555  | 73         | 766     | 23,061  | 124        | 881    | —     | —          | —       | 27,088         |                     |
|                                 |             | 異 型           | 〃       | 6,737   | 197        | 248     | 5,016   | 158        | 194    | —     | —          | —       | 10,066         |                     |
| 帳 壁 用                           | ブ ロ ッ ク     | 〃             | 15,717  | 87      | 410        | 15,221  | 175     | 435        | —      | —     | —          | 32,408  |                |                     |
| 陶<br>磁<br>器                     | 総           | 数             | 疋       | 254,929 | 110        | 25,763  | 233,874 | 131        | 25,783 | —     | —          | —       | 229,068        | 22                  |
|                                 | 電 氣 用 品     | 特 別 高 圧 用 碍 子 | 〃       | 40,168  | 109        | 15,717  | 40,168  | 109        | 15,717 | —     | —          | —       | —              |                     |
|                                 |             | 高 圧 用 碍 子     | 〃       | 1,761   | 115        | 2,775   | 1,761   | 115        | 2,775  | —     | —          | —       | —              |                     |
|                                 |             | 低 圧 用 碍 子     | 〃       | —       | —          | —       | —       | —          | —      | —     | —          | —       | —              |                     |
|                                 |             | そ の 他         | 〃       | 4,815   | 99         | 5,287   | 4,944   | 103        | 5,454  | —     | —          | —       | 135            |                     |
|                                 | 家 庭 用 品     | 〃             | 150,186 | 108     | 1,421      | 143,001 | 158     | 1,317      | —      | —     | —          | 203,633 |                |                     |
|                                 | 衛 生 用 品     | 〃             | 58,000  | 116     | 563        | 44,000  | —       | 520        | —      | —     | —          | 25,100  |                |                     |
| そ の 他                           | 〃           | —             | —       | —       | —          | —       | —       | —          | —      | —     | 200        |         |                |                     |

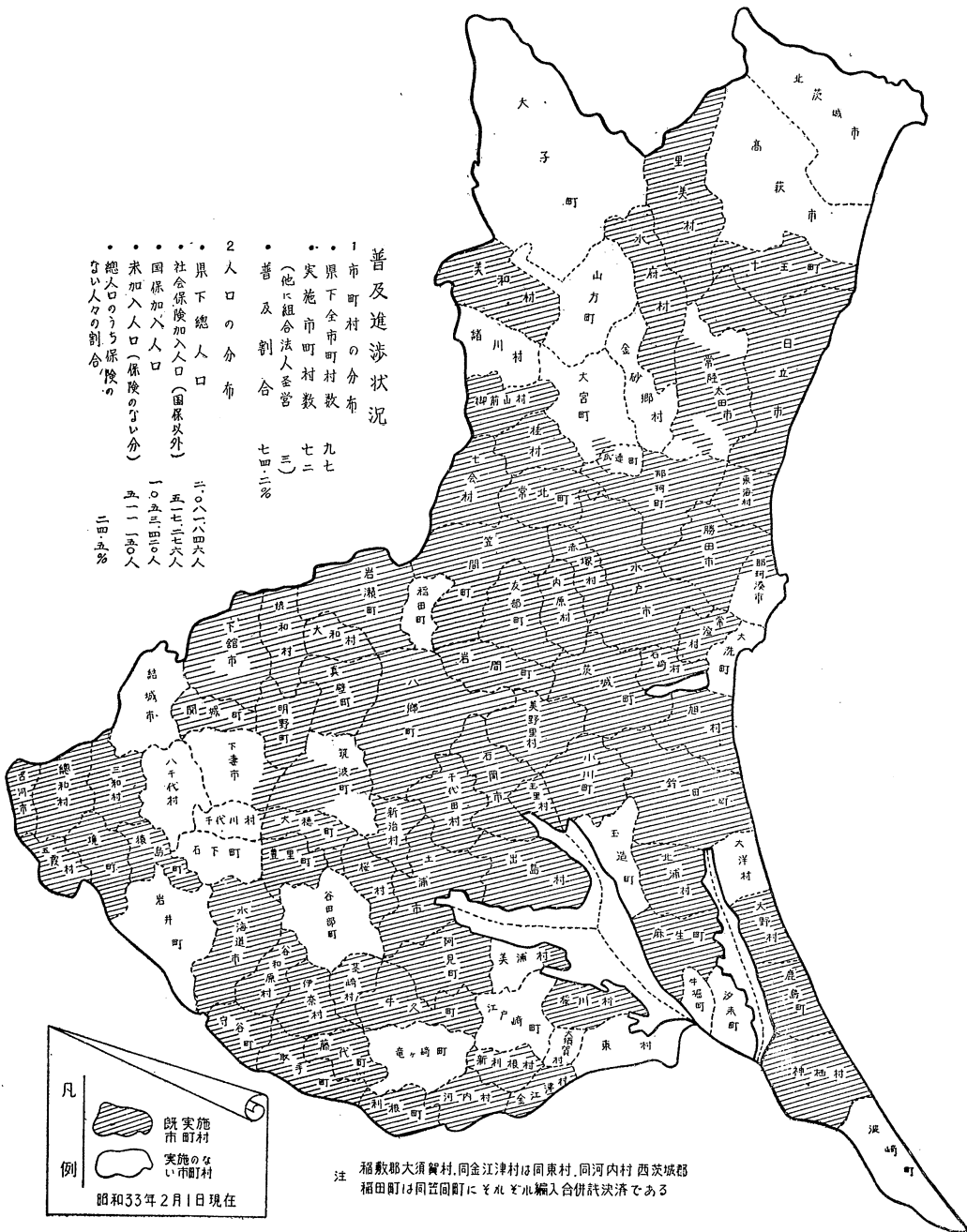
※対象工場数、生産数量及び出荷数量において2以下の事業所については公表を禁じられているので、金属等

赤れんが、がん具、がらす製品は除外した。

革靴、陶磁器は5人以上の事業所、漆器、コンクリートブロックは全事業所である。



# 本県における国民健康保険組合の普及分布図



# 茨 城 県 鋳 工

昭和 32 年 1 月 ~ 12 月

## 一 般 概 況

昭和32年の鋳工業生産指数は総合においては31年の111.64に比し40%の増となっており、鋳業と製造工業に大別すると鋳業において15%増、製造工業において48%の増となっている。

さらにこれを業種別にみると鋳業では非金属鋳業27%増、石炭鋳業17%増、金属鋳業10%増と微増に過ぎないが、製造工業では、第一次金属工業29%、窯業24%、衣服身廻品工業34%と著しく増加し、精密機械工業、化学工業、石油石炭製品工業、紙パルプ工業、その他の工業は微増を示している。しかしながら紡績工業は37%も減少し、皮革工業、木材製品工業もそれぞれ減している。

次に大幅に増減された業種を見ると次のとおりである。

1. 金属製品工業の前年指数は29.29であったが、本年は130.1と大幅に増加した。これはウエイト97.65を占めるボイラー罐体の前年指数26に比し本年は130と増加したためである。
2. 一般機械工業の前年指数は57.43であったが本年中旬より上昇し98.00となった。
3. 電気機械工業は前年指数115.90に比し本年は292.45と上昇した。このうち最も上昇した品目は直流電動機(昨年に対し本年は1,804)と電気洗たく機(昨年411に対し本年は610)である。
4. 輸送機械工業においては昨年は322.02と激増したが、本年は58.98と著しく減少した。これはウエイト93.75を占める鉄道用機関車の長期生産が原因と思われる。

## 茨 城 県 鋳 工 業 生 産 指 数

| 年月          | 分類     |        |        |        |              |        |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------------|--------|
|             | 鋳工業総合  | 鋳業     | 金属鋳業   | 非金属鋳業  | 原油および天然ガス生産業 | 石炭鋳業   |
| <b>ウエイト</b> | 100.00 | 25.17  | 30.22  | 2.14   | —            | 67.64  |
| 32年1月       | 108.28 | 110.20 | 105.76 | 116.00 | —            | 112.00 |
| 2           | 161.07 | 113.64 | 103.35 | 153.00 | —            | 117.00 |
| 3           | 176.60 | 123.85 | 102.14 | 141.00 | —            | 123.00 |
| 4           | 172.81 | 120.35 | 109.56 | 189.00 | —            | 123.00 |
| 5           | 158.76 | 123.15 | 111.45 | 167.00 | —            | 127.00 |
| 6           | 140.97 | 120.98 | 113.20 | 167.00 | —            | 123.00 |
| 7           | 139.77 | 119.07 | 102.21 | 138.00 | —            | 126.00 |
| 8           | 157.63 | 110.49 | 115.88 | 145.00 | —            | 107.00 |
| 9           | 193.66 | 121.39 | 116.55 | 139.00 | —            | 123.00 |
| 10          | 136.41 | 129.54 | 122.89 | 146.00 | —            | 132.00 |
| 11          | 145.35 | 128.32 | 111.73 | 152.00 | —            | 135.00 |
| 12          | 155.72 | 117.50 | 165.52 | 130.00 | —            | 140.00 |
| <b>年平均</b>  | 156.39 | 122.48 | 114.95 | 149.00 | —            | 125.00 |

| 年月          | 分類     |        |        |        |         |        |
|-------------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
|             | 輸送機械工業 | 精密機械工業 | 窯業     | 紡績工業   | 衣服身廻品工業 | 化学工業   |
| <b>ウエイト</b> | 5.55   | 0.75   | 8.66   | 2.90   | 0.45    | 2.45   |
| 32年1月       | 78.90  | 96.30  | 120.10 | 99.63  | 108.60  | 132.57 |
| 2           | 1.59   | 108.93 | 157.32 | 110.86 | 157.45  | 106.15 |
| 3           | 2.24   | 169.55 | 162.49 | 113.96 | 196.96  | 115.20 |
| 4           | 77.47  | 125.34 | 195.23 | 122.73 | 123.10  | 123.57 |
| 5           | 4.27   | 74.09  | 171.51 | 115.32 | 119.55  | 114.90 |
| 6           | 5.57   | 163.46 | 157.68 | 123.08 | 129.07  | 123.75 |
| 7           | 34.19  | 104.22 | 171.27 | 140.14 | 111.87  | 136.00 |
| 8           | 297.93 | 94.53  | 139.66 | 132.49 | 307.27  | 134.07 |
| 9           | 151.37 | 180.02 | 144.78 | 130.69 | 277.63  | 117.07 |
| 10          | 33.98  | 266.01 | 157.78 | 136.40 | 227.74  | 127.57 |
| 11          | 188.70 | 139.54 | 149.64 | 117.95 | 217.77  | 134.00 |
| 12          | 4.27   | 252.51 | 153.07 | 130.15 | 248.33  | 127.00 |
| <b>年平均</b>  | 59.98  | 148.07 | 156.91 | 122.69 | 185.20  | 122.50 |

# 業 生 産 指 数

(昭和 30 年基準)

調 査 企 画 課

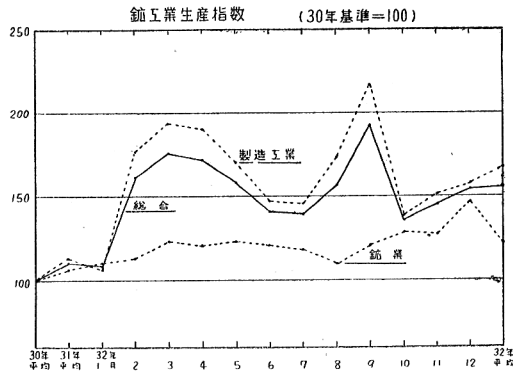


表 (総合) 昭和 30 年基準

| 製 造 工 業 | 食 料 品 工 業 | 第 一 次 金 属 工 業 | 金 属 製 品 工 業 | 一 般 機 械 工 業 | 電 気 機 械 工 業 |
|---------|-----------|---------------|-------------|-------------|-------------|
| 74.83   | 14.86     | 13.41         | 4.38        | 12.50       | 27.96       |
| 107.63  | 118.97    | 135.36        | 4.11        | 72.93       | 122.07      |
| 177.03  | 321.70    | 138.76        | 128.12      | 56.59       | 252.82      |
| 194.35  | 370.32    | 138.52        | 16.22       | 67.22       | 294.17      |
| 190.46  | 69.40     | 136.66        | 44.71       | 65.46       | 409.10      |
| 170.74  | 57.06     | 150.76        | 40.13       | 103.55      | 346.52      |
| 147.70  | 57.53     | 144.83        | 28.80       | 128.39      | 258.64      |
| 146.73  | 56.51     | 141.58        | 8.88        | 85.88       | 275.95      |
| 173.49  | 50.54     | 142.27        | 301.26      | 102.97      | 272.05      |
| 217.98  | 61.20     | 185.97        | 541.16      | 118.18      | 388.16      |
| 138.71  | 63.19     | 138.60        | 156.97      | 71.52       | 226.25      |
| 151.07  | 85.65     | 143.05        | 160.50      | 174.86      | 183.75      |
| 158.48  | 100.12    | 133.01        | 113.62      | 116.27      | 252.18      |
| 167.79  | 105.40    | 146.77        | 130.12      | 98.00       | 292.45      |

| 工 業        |        |      |        |        |         |
|------------|--------|------|--------|--------|---------|
| 石油、石炭製品製造業 | 紙パルプ工業 | ゴム工業 | 皮革工業   | 製材木製品業 | その他の製造業 |
| 0.59       | 1.07   | —    | 0.28   | 3.17   | 1.04    |
| 116.00     | 160.13 | —    | 121.35 | 98.00  | 41.00   |
| 115.00     | 160.29 | —    | 97.26  | 92.00  | 62.00   |
| 120.00     | 174.69 | —    | 140.85 | 103.00 | 66.00   |
| 63.00      | 180.06 | —    | 109.66 | 115.00 | 154.00  |
| 107.00     | 175.52 | —    | 131.93 | 114.00 | 158.00  |
| 128.00     | 174.24 | —    | 125.16 | 105.00 | 129.00  |
| 97.00      | 179.38 | —    | 133.48 | 101.00 | 59.00   |
| 82.00      | 149.65 | —    | 140.29 | 100.00 | 125.00  |
| 98.00      | 146.01 | —    | 150.79 | 98.00  | 107.00  |
| 79.00      | 163.00 | —    | 134.03 | 93.00  | 45.00   |
| 93.00      | 150.76 | —    | 104.21 | 114.00 | 66.00   |
| 98.00      | 137.77 | —    | 114.40 | 286.00 | 89.00   |
| 102.00     | 163.10 | —    | 125.57 | 118.00 | 92.00   |

本校が統計教育の研究を始めるに当つて、もつとも苦心した点は、統計教育が全国的にはかなりの高次のところまで進んでいるのかかわらず、教育全体の中で統計教育が占める場の認識から出発しなければならなかつたことである。

そこで研究の方向も他校の研究を見学してみたり、統計教育の場を整えるためにいろいろの図表や教具を作成したりして次のような方針をたてた。

**第一 年 次**

1. 全体教育の中で統計教育の場を概念的なところでどう位置づけるか。
2. 算数学習の中で統計教育をどのように展開していくか。

**第二 年 次**

算数科以外の学習の中ではどのように展開していくか

**第三 年 次**

教育全体の中で統計教育がどうあるべきかまとめる形でその構造をあきらかにする。

なお本年度の場合であるが、特に統計教育の中では統計図表は重要な役割をもつので、図表については重点的な研究目標とし、統計学習の教材配当にも、その使用の目的性格を明らかにし、指導の実際の場においてよく考察するように方向づけてみた。

以下その実際例をあげてみる。

**1. 指導に当つての基本態度**

○計画案にもとずいて統計的知識、理解、技能等の習得をさせる。

※作業ということのみにおわれるという傾向があらわれがちなので、とくに基礎技能の習得ということにねらいをおくことに留意していく。

○児童の生活の数理的・生活の向上をめざす算数教育の目標にねらいをおく。

※したがつてその内容とするところは複雑多岐にわたる数量生活ということができ「数える」「測る」「考える」「計算する」……等の指導の対象。教材の中に統計的処置を必要とする生活部分が生じ学年に応じて統計処理の素材が考えられてくる。

**2. 指 導**

○自然や社会の現象を理解し生活の向上に資するという算数の役目というものを考えてみると、数量・図形についての操作、性質のいろいろを学んでいくと同時に一方では表・グラフによつてみやすいものと

して分析的に表現していくといった学習の必要も考えられてくるわけで、ここでは表やグラフというものに、その指導のめやすをつけて考え以下のとおり。

○段階として「○」や「×」によつていろいろの整理をする学習がある。1年計画案「たま入れ」「どろりころがし」のような段階から始まつて順次6年計画案へと自己の行為だけでなく自然や社会の現象を表やグラフとして、おさえて判断のよりどころとしていく段階にまで発展する。

○表やグラフには種々の分類があるが、これは用途に応じて用いる技能や習慣を得させるように考えていく。そしてこれらが学年をおつて、一点に集約されるという過程をとることが重要なポイントとされている。

**3. 資料及び教具**

○どの学習においても同じであるが、予想されている学習活動に対し必要な資料や教具を整えておくことは重要な意味をもっている。

統計教育ではとくにその必要性が大だといえる。

※しかしこれもその資料は図書館に年鑑類があるから足りるということではなく、児童というものを即した、その学習内容を深化させることのできるもの、教育的なものでなくてはならないと思う。そこで本校でもこの点についての研究にも取り組んでいる。

○資料の考え方を計画の中にもみられるが大きくは

- ①子どもたちが問題解決にあたつて、学習を進めていく過程の中で考えられるもの(児童の活動)
- ②あらかじめ整備された資料の中からのもの(資料の提示)

として考えられる。

※①と②ははつきりわけられない面ももつてくる。

○表・グラフ取り扱うことが多いので、その指導としては能率的効果的ということのために指導上いろいろ工夫してみた。

- グラフ黒板 (各種)
- 表黒板 (各種)
- グラフ板 (各種)

※これらについては実地授業の中にもみられたものが、一つのものが多種多様に活用され、利用の多いものをと考えている。

資料の利用(各種グラフ)は学習指導と関係があるので扱い方はそれぞれ異なつてくる。

指導例

- 学習過程の中において、その学習内容を深めるため
- 研究は短時日では困難なものであるが本校での現在

までの実地授業の指導例をのべて参考としたい。

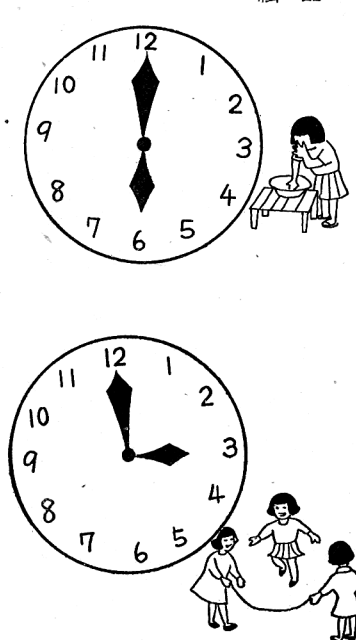
第1学年展開例

- 表・グラフ使用上の中心目的 (つながりのある グラフの種類)
- 基礎能力 ○円グラフ

よしこさんのいちにち (9月取扱い)

学習目標

- 時計の見方を知る
- 12までの数字の読み方を知る
- 時刻に対する理解

| 一時限の流れ(40分)  | つかわれる表・グラフ  | 児童の動き(反省)   |
|--|---|---|
| <p>教室に常掲されている時計について話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○針が何本ついているか。</li> <li>○長い針と短い針があることに気づかせる。</li> </ul> <p>○何時か知らせてくれるのは短い針がその数字をさしていることを気づかせる。</p> <p>○時計はどんな時に用いられるか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いつ時計を見るでしょう。</li> <li>○お家の人は……</li> </ul> <p>○「よしこさんの一日」をみて長い針と短い針はどこをさしているか何時か。</p> <p>みんなは何時に顔を洗うか。</p> <p>○実物の時計を動かして見る。</p> <p>音をきいて何時と読むことができるようにする。数字をよんで答えられるようにする。</p> <p>○11、12の読み方を知る。</p> <p>○もけいの時計をつかつて指定された時刻を示したり、教師の示した時計をよむ。</p> | <p>○時計に長い針と短い針があること。</p> <p>○長い針が12をさしている時。短い針は何時を示しているか。</p> <p>○よしこさんのいちにち</p> <p style="text-align: center;">絵 図</p>  <p>○時計板 (教師用、児童用) もけいの時計</p> | <p>○時計はたいていの家庭にあり興味をもつて学習した。</p> <p>ない家 (30名中1名)</p> <p>○時計は大抵の家にあるが、注意して見ている児童は少なかった。</p> <p>2、3名の児童は「何分」まで読むことが出来た。そういう児童は発表したが何時間何時ではつまらなさそう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○分まで針をまわして読ませた。</li> <li>○わからない児童の先生にしたが次時は能力別の指導にしたい。</li> </ul> <p>○読むことは早く覚えたようだが時計板に示させると長短の針をまちがえる児童あつた。</p> <p>○長い針が12でなくとも短い針だけで3にあれば3時とよむ児童も見られ反復練習の機会を多くする必要がある。</p> |

第1 学年展開例

(表・グラフ使用上の中心目的)

(つながりのあるグラフの種類)

○問題提示

○二次元の表

こよみ (12月取扱)

(学習目標)

- こよみの見方を知る。
- 日付についての用語に慣れさせる。
- 50までの数字のよみ方とかき方

| 一時の流れ(40分)  | つかわれる表グラフ   | 児童の動き(反省) |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
|---|---|-----------|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| <p>○あといくつねるとお正月がくるかという問題をなげかけて学習意欲を喚起させる。</p> <p>○12月のこよみについて話合う。<br/>きよう、きのう、あしたなどの日付や曜日を調べる。<br/>○きのうは何日で何曜日でしたか。</p> <p>○こよみの見方について児童に発表させ、数字を表の中で探し、みつけたらたてに見通して曜日をみるとよいことを理解させる。<br/>日月火水木金土の用語のよみ方</p> <p>○こよみの見方を練習する。</p> <p>○50までの数字の読み方<br/>数字カード、数列板を使用する。</p> | <p>12月のこよみ</p> <table border="1" data-bbox="591 730 916 1006"> <thead> <tr> <th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td> </tr> <tr> <td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td> </tr> <tr> <td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td> </tr> <tr> <td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td> </tr> <tr> <td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○数系列にしたがつて日づけがよばれていることを理解させる。</p> <p>○日月火水木金土の用語と順序</p> <p>○祭日は赤○、日曜は赤い字で表わされている。</p> <p>(数列板)</p> <table border="1" data-bbox="573 1398 924 1630"> <tbody> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr> <tr><td>31</td><td>32</td><td>33</td><td>34</td><td>35</td><td>36</td><td>37</td><td>38</td><td>39</td><td>40</td></tr> <tr><td>41</td><td>42</td><td>43</td><td>44</td><td>45</td><td>46</td><td>47</td><td>48</td><td>49</td><td>50</td></tr> </tbody> </table> | 日         | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 1  | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |  |  |  |  | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | <p>○今日、昨日、明日の用語の意味は日常生活につかわれているのでほとんどの児童が理解されていた。</p> <p>○こよみを作ろうという声が多かったが、ここでは見方を指導するのでという学習はとり上げなかった。</p> <p>○あといくつねるとお正月進んだ児童は、こよみを見て、問題解決が容易であった。</p> <p>○全児童には要求しなかった。</p> <p>○日付けについての用語は事項につけて理解させ使用になれさせることが大切である。</p> <p>○39、49の次の数がよくわかっていない児童があつた。</p> |
| 日   | 月   | 火         | 水  | 木  | 金  | 土  |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 1   | 2   | 3         | 4  | 5  | 6  | 7  |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 8   | 9   | 10        | 11 | 12 | 13 | 14 |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 15  | 16  | 17        | 18 | 19 | 20 | 21 |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 22  | 23  | 24        | 25 | 26 | 27 | 28 |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 29  | 30  | 31        |    |    |    |    |    |    |    |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 1   | 2   | 3         | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 11  | 12  | 13        | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 21  | 22  | 23        | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 31  | 32  | 33        | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
| 41  | 42  | 43        | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |

第2学年展開例

表・グラフ使用上の中心目的

(つながりのあるグラフの種類)

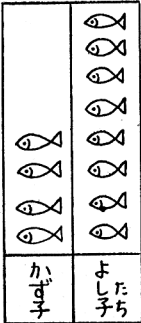
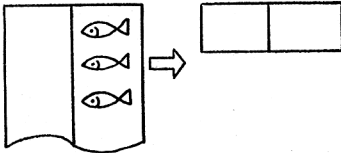
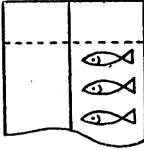
○理解を助ける

○点図表

う お つ り あ そ び (六月取扱)

(学習目標)

○1位数に1位数をよせて、被加数が6以下のくり上がる場合の寄せ算を理解し、よりはやくできる方法、より便利な方法を考える。

| 一時限の流れ(40分)  | つかわれる表・グラフ   | 児童の動き(反省)   |
|--|--|---|
| <p>○うおつりあそびをするので魚をつくった。その話し合いをする。</p> <p>○魚を4ひきつくりました。あとから8ひきつくりました。魚はみんなでなんびきできたでしょうか。というような増加したあとの総数を求める。<br/>(被加数6以下)</p> <p>○魚の点図表を与えて計算をくふうする。</p> <p>○計算方法を発表する。</p> <p>○<math>4+8=12</math>の方法を工夫する。加数を分解して被加数を10にする方法<br/>被加数と加数をとりかえて計算する方法</p> <p>○やさしく早くできる方法を知る。</p> | <p>○教師の提示</p> <p>○教師の提示</p>  <p>○この表をみて <math>4+8=12</math> の数式を理解する。</p> <p>○やさしく早くできる方法をくふうし <math>4+8</math> を <math>8+4</math> とかかえてもできることを知る。</p> <p>○始めに提示した図表(イ)図</p>  <p>(イ)の用紙を用いた魚の点図表</p>  <p>※8の上を線で切られている図表から大きい数を被加数としてより便利な方法を工夫するのが理想であるが、その前にこのような過程も大切ではなかろうか。</p> | <p>○増加した結果を求めるには寄せ算を用いて計算する方法を前単元で学習してあるので大部分数式 <math>4+8</math> は考えられた。<br/>但しその <math>4+8=12</math> の計算の仕方は加数を分解して被加数を10にする方法をとるものが多かった。</p> <p>○よりやさしく、より便利にできる方法はないかについては被加数と加数をとりかえてから上の様に計算する方法を考えだした児童は少数(1割)であった。</p> <p>○そこで教師の提示する図表について次のような事を考えてみた。</p> <p>○左の図表は4の上は空らんで8の上は線で切つて用いた。児童は空らんの方へ持つていく心理がはたらくので加数を分解し8の中の6を持つていく従つて大きい方の数を被加数にした方が計算しやすい事を発見するのは困難である。</p> <p>○試みに8の上の線を(イ)図のような用紙を用いて魚の点図表の線の上においてみる。<br/>8の上も空らん、4の上も空らんなので大きい数の8に2をもつていき10とし、大きい方の数を被加数として計算する方法を発見している。</p> <p>※(左らんにつづく)</p> |

第2学年展開例

(表・グラフ使用上の中心目的)

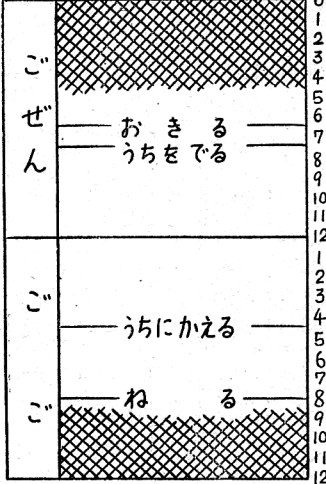
(つながりのあるグラフの種類)

○問題提示

○1日の日課表(10月取扱い)

(学習目標)

1. 時計を見ながら5分または、1時間(30分)単位で時間を測る能力を養う。
2. 1時間=60分、1日=24時間及び午前、午後ともに、12時であることを知る。

| 一時限の流れ(40分)   | つかわれる表・グラフ   | 児童の動き(反省)    |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
|---|--|--------------|-----|------|---|---|--------------|---|---|---|---|--------|---|---|----|---|----|----|---|----|---|--|---|---|--|---|---|--|---|---|--|---|---|--|---|---|--|---|---|--|---|---|--|---|---|--|---|
| <p>○教科書P7の図は何んの図でしょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○はるおくんの1日の生活を図に表わしたものであることを理解する</li> </ul> <p>○文字や数字はどんな意味があるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○はるおくんの1日の時間と仕事や生活を示したものであることを理解する。</li> </ul> <p>○黒いところは何なのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○寝ている時間は黒くしてあることの理解</li> </ul> <p>○はるおくんは、何時に何をしていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○起る時刻、家を出る時刻、学校にいる時間をよみとる。</li> </ul> <p>○1日は何時から、何時まででしょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○時計の針を動かし、短針を12時から12まで2回転させてこれだけの間が図に示されていること。<br/>1日は24時間であること。<br/>午前は12時間、午後は12時間であること。</li> </ul> | <p style="text-align: center;">教師提示</p>  <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>1日の時間</caption> <thead> <tr> <th>じこく</th> <th>じかん</th> <th>ことがら</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>6</td><td>じ</td><td rowspan="2">おきる<br/>うちをでる</td></tr> <tr><td>7</td><td>じ</td></tr> <tr><td>8</td><td>じ</td><td rowspan="2">うちにかえる</td></tr> <tr><td>9</td><td>じ</td></tr> <tr><td>10</td><td>じ</td><td rowspan="2">ねる</td></tr> <tr><td>11</td><td>じ</td></tr> <tr><td>12</td><td>じ</td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td>じ</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>じ</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>じ</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>じ</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>じ</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>じ</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>じ</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>じ</td><td></td></tr> </tbody> </table> | じこく          | じかん | ことがら | 6 | じ | おきる<br>うちをでる | 7 | じ | 8 | じ | うちにかえる | 9 | じ | 10 | じ | ねる | 11 | じ | 12 | じ |  | 1 | じ |  | 2 | じ |  | 3 | じ |  | 4 | じ |  | 5 | じ |  | 6 | じ |  | 7 | じ |  | 8 | じ |  | <p>「1日は24時」の理解むずかしい。児童は、時計の12時までの目盛りから1日は12時間のように思いこんでいる(ねている時間を考えないようだ)</p> <p>自分の生活時刻は表にかけるが、何時間あるかの理解は時計板の針の動きがないとなかなかむずかしいようであった。</p> <p>1週間たつて、1日の時間をテストしてみたらわからない児童が多かつたので、下図の表で学習してみた。</p> <p>右の表のようにして時刻と、時間関係を整理すると効果的である。</p> |
| じこく   | じかん  | ことがら         |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 6   | じ  | おきる<br>うちをでる |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 7   | じ  |              |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 8   | じ  | うちにかえる       |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 9   | じ  |              |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 10  | じ  | ねる           |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 11  | じ  |              |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 12  | じ  |              |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 1   | じ  |              |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 2   | じ  |              |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 3   | じ  |              |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 4   | じ  |              |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 5   | じ  |              |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 6   | じ  |              |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 7   | じ  |              |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |
| 8   | じ  |              |     |      |   |   |              |   |   |   |   |        |   |   |    |   |    |    |   |    |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |   |  |   |





## (統) (計) (用) (語) (の) (解) (説)

【大手筋】 仕手(して)ともいい、株式相場を動かすほどの大口売買を行うものこと。しかし大手筋の場合には投資本位による大口売買を行う生命保険会社なども含まれるが、仕手はむしろ投機的な大口売買なので個人の場合が多い。

【メール・デー】 郵便日数をいう。国際間の郵便日数は航空便を基準として計算するが、利息の計算などについても重要な要素となる。日本では対米国は10日、英国、西独、スイスは13日、カナダ10日である。

### 編 集 室

昭和32年もいよいよ終りを告げて、新年度を迎えるわけであるが、今年は例年とは別に商業調査(7月1日)住宅調査(10月1日)、沿岸漁業対策臨時調査(11月1日)などの大規模な調査が行われることになっているので、私たちはさつそくその準備にとりかからなければならない。大調査の場合に限って調査員や調査指導員の手当が問題になる。なかでも市町村の職員の方に兼務していただく場合の手当支給が地方公務員法第24条4項に違反しないだろうかとの疑義が起きてくる。しかし調査事務の円滑な遂行を期するためにやむを得ず市町村統計関係者の方を市町村長の内申によって県知事が調査員や指導員にそれぞれ任命してその困難な仕事をお願いしているので、勤務時間外に従事することを建前として所属長の承認を得ているならば、任命権者の違う特別公務員としてわずかな手当を支給してもよいのではないかと思う。そのためにも県人事委員会において人事院規則(8~12)第25条に準ずる規則を設けてもらいたいものである。

■暖冬異変のために今年の春も相当早目に訪れたが、たまたま3月7日に何年振りかの初大雪に見舞われ、私たちはおそまきながら冬の寒い気分になんか浸ることができ

た。その新雪にもめげず香り高い花を咲かせる梅のすがたは、実に苦難と波乱に満ちた人生を切り開いて行く人間のすがたを象徴しているようである。表紙の写真は高雅な老梅の花によつてその古い歴史の遺香を放つ弘道館である。弘道館は水戸第9代藩主徳川斉昭が藩内の有能な子弟を文武両面から教育するため、天保12年に創設した中央藩校で、わが国において残存する唯一のものとして、有識者の来訪が次第に増加している。構内には「学校御殿」、鹿島神社、孔子廟、八卦堂、要石歌碑、学生警鐘、種梅記碑」などがあり、大正11年史蹟に指定された。(N生)

### ～寄稿募集～

1. 内 容 調査統計についての意見、体験、その他
2. 用 紙 原稿用紙を用い、約2,000字程度のもの
3. 必 切 毎月10日まで
4. あて先 水戸市北三の丸

茨城県調査企画課内

茨 城 県 統 計 協 会

なお御投稿の方には薄謝を贈ります。